

第110号 令和7年8月

いばら 市議会だより

【目次】

新しい議会構成……………2P
6月定例会・5月臨時会…4P
委員会報告……………6P
一般質問……………7P
編集後記等……………12P

発行／井原市議会
編集／井原市議会広聴広報委員会



E-mail: gikai@city.ibara.lg.jp
TEL 62-9535 FAX 62-9556



葡萄浪漫館初売り

新しい議会構成決まる

議長 山下 憲雄 氏
副議長 佐藤 豊 氏

5月15日から16日までの2日間で開催された井原市議会臨時会において、正・副議長の選挙が行われ、議長に山下憲雄氏、副議長に佐藤豊氏を選出しました。この他、常任委員会委員、議会運営委員会委員などの議会構成を決定しました。

市民の皆様へいっしょに

市民の皆様には、日頃より市議会へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様の声に真摯に耳を傾け、より信頼される市議会を築いていく決意のもと、新たな議会が始動いたしました。

新しい井原市議会は、30代から70代までの幅広い世代と、3名の女性議員を含むバランスの取れた構成となり、大変心強く感じています。一方、投票率は過去最低の55・56%にとどまり、「何をしているかわからない」「どうせ変わらない」といった声が市民の間に広がっている現実も見つめなければなりません。

こうした声に応えるため、私たちは

市民との距離を縮める議会改革に取り組みます。井原市議会基本条例を踏まえ、次の3つの柱で開かれた議会を目指します。

第一に、議会運営の改革です。条例第3条に定める「開かれた議会」「市民参加の充実」「政策形成力の強化」の原則を実行し、議員間討議の活性化を進めます。具体的には、政策テーマごとに少人数の意見交換の場を設け、立場の違いを超えた建設的な議論を積み重ねていきます。また、執行部からの提案を受け身で審議するだけでなく、議会側からも政策提案を積極的に行い、条例制定や予算提言を通じて市民ニーズの実現を図ります。報告会や相談会、「青空議会」の開催も検討し、政策づくりに市民の声を直接反映させる場を広げてまいります。

第二に、市民との信頼関係の構築です。条例第7条に基づき、議会・委員会との公開と傍聴を促進します。一人でも多くの方に議会に足を運んでいただくよう呼びかけ、小中高生の議場見学も積極的に進めます。

第三に、「チーム市議会」の構築です。議員と事務局が定期的に意見交換を行い、課題や知恵を共有する体制をつくります。

結びに、私の好きな論語の「義を見てせざるは勇なきなり」の精神で、正しいと思うことに果敢に取り組む議会を目指します。市長との関係も適切な

緊張感を保ちつつ、対立ではなく、歩調を合わせながら前進してまいります。井原市の未来を築くために、皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

議長・副議長立候補制

井原市議会では、井原市議会基本条例第3条第1項に規定する「市民にわかりやすい真に開かれた議会運営」を目指す一環として、平成23年5月より正・副議長選挙立候補制度を導入しました。

令和7年5月15日に開催された市議会臨時会において実施した、正・副議長選挙では、議長選挙に1名、副議長選挙に1名の議員が立候補し所信表明を行いました。（立候補者の所信表明につきましては、井原市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。）

監査委員

西村 慎次郎 氏

監査委員の任期満了に伴い、西村慎次郎氏の選任に同意しました。



佐藤豊 副議長



山下憲雄 議長



西村慎次郎 議員



副委員長 多賀信祥



委員長 沖久教人



多賀紀代子



松本周平



西村慎次郎



木尾容子



西田久志



荒木謙二



佐藤 豊

厚生文教委員会



副委員長 大滝文則



委員長 妹尾文彦



柳本益裕



山田幾久枝



惣台己吉



山下憲雄



上野安是



坊野公治



宮地俊則

総務産業委員会

議会運営委員会

委員長 多賀信祥
副委員長 西田久志
委員 惣台己吉 坊野公治
上野安是 宮地俊則
佐藤 豊

予算決算委員会

委員長 惣台己吉
副委員長 坊野公治

議長を除く議員全員により構成しています。

6 月 定 例 会

6月16日～6月30日
(15日間)

6月16日から30日にかけて、6月市議会定例会が開かれました。6月定例会における各議案の案件名と議決結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議決結果
予 算 議 案		
議案第51号	令和7年度井原市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
議案第52号	令和7年度井原市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議案第53号	令和7年度井原市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
条 例 議 案		
議案第54号	井原市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第55号	井原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第56号	井原市水道企業職員の給与等の種類及び基準を定める条例及び井原市病院企業職員の給与等の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第57号	井原市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
そ の 他		
議案第58号	井原市土地開発公社の解散について	原案可決 (全会一致)
議案第59号	財産の取得について	原案可決 (全会一致)
議案第60号	財産の取得について	原案可決 (全会一致)
議案第61号	工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)
議案第62号	財産の取得について	原案可決 (全会一致)

6月市議会定例会において審議された議案の概要について

・ 議案第51号 令和7年度井原市一般会計補正予算（第2号）について

◎補正額 797,600千円

◎補正後の予算総額 26,887,000千円（前年同期比16.4%増）

■歳出の主なもの

総務費 井原市土地開発公社所有土地購入費 375,171千円

井原市土地開発公社の解散に向けた清算に当たり、市が同公社に依頼して先行取得させた土地約7ヘクタールを買戻す。

民生費 低所得者支援及び定額減税補足給付事業 243,400千円

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を踏まえ、定額減税を補足する給付として、令和6年分所得税及び定額減税の実績額等の確定により、支給額に不足が生じた方へ給付金を支給する。

衛生費 病院事業会計負担金 29,400千円

井原市民病院の許可病床数の削減に伴い、不採算地区病院の運営に要する経費を一般会計から繰り出す。

商工費	物価高騰対応学校給食費支援金	20,500千円
	令和7年度1年間の物価高騰による給食費値上げ相当額を、学校給食費会計へ支援金として交付する。	
土木費	橋梁点検補修事業	20,000千円
消防費	消防団員安全装備品整備事業	24,800千円
	新たな消防団員服制基準に適合した活動服に更新する。基準に示されたオレンジ色の部分以外は、市内で織られたデニム生地を用いる。	
教育費	井原体育館ランニングマシン設置事業	1,600千円

5 月 臨 時 会

5月15日～5月16日
(2日間)

議案番号	件 名	議決結果
予 算 議 案		
議案第45号	令和7年度井原市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
条 例 議 案		
報告甲第1号	市長の専決処分した井原市税条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
報告甲第2号	市長の専決処分した井原市地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
報告甲第3号	市長の専決処分した井原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第46号	井原市県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第47号	井原市営土地改良事業等分担金徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第48号	井原市営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
そ の 他		
議案第49号	工事請負契約の締結について	原案可決 (全会一致)

5 月市議会臨時会において審議された議案の概要について

・議案第45号 令和7年度井原市一般会計補正予算（第1号）について

■歳出の主なもの

総務費	窓口サービス改革事業	30,400千円
	書かない窓口、行かない窓口の構築	
商工費	井原デニム×オープンファクトリーによる伝統産業活性化事業	50,000千円
農林水産業費	井原市美星堆肥センター施設機能向上事業	82,000千円

総務産業委員会

6月25日開催

議案3件を審査

〈議案第58号 井原市土地開発公社の解散について〉

Q. 解散の理由と、今後同様の機能が必要となった場合の対応は。

A. 地価の下落傾向により先行取得の意義が薄れたことに加え、四季が丘住宅団地の分譲も残り1区画となり、以前より検討していた解散に踏み切る。今後の開発事業は、特別会計等で対応。

原案可決

〈議案第59号 財産の取得について〉

Q. 取得するパソコンの内容と導入の背景は。

A. ノートPCを315台導入。Wi-Fi環境整備に伴い庁内での活用幅が広がるため、デスクトップから切替。

Q. 初期設定や保守対応

応はどう行つか。
A. 初期セットアップは業者が対応し、業務ソフトは職員が分担してインストールする。保守契約は締結せず、1年間の保証期間後は予備機9台で対応するかスポット対応。

原案可決

〈議案第60号 財産の取得について〉

Q. 取得する土地の内容と今後の方針は。

A. 昭和50年代〜平成初期に土地開発公社が取得した区画整理事業内用地6区画と、医療・保健・福祉ゾーンの一帯で、いずれも帳簿価

格で市が買い戻す。区画整理事業内用地は条件がよく、売却を前提に検討。福祉ゾーンは広大であるため、一部のみの売却では課題がある。慎重に対応していく方針。

原案可決

厚生文教委員会

6月24日開催

議案1件を審査

〈議案第57号 井原市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について〉

Q. 病床数を150床から139床に減らす根拠は

A. 今後の患者数減少が見込まれる中、経営の厳しさに対応するため、病床機能と数のスリム化の必要がある。

Q. 病床数の削減による具体的な経費削減見込額は

A. 清掃業務委託費やナースコール、ベッドの減価償却費などを含め、年間で約270万円の経費削減が見込まれる。

Q. 市民のメリットは

A. 清掃やナースコール設備などの維持費が削減されることにより、経営の効率化が図られ、加えて不採算地区病院としての要件に該当することで特別交付税措置が見込まれるなど、収益の安定化にもつながっている。また、削減した病床スペースを活用して個室の整備や外来化学療法室の設置を進めることで、療養環境の改善や医療サー

Q. 今後の削減計画は

A. 当面の追加削減は予定していない。

原案可決

予算決算委員会

6月26日開催

議案3件を審査

〈議案第51号 令和7年度井原市一般会計補

正予算(第2号)〉

Q. 消防団の活動服の素材は井原デニムを用いるとのことだが、縫製は市内業者になるの

か。
A. 市内の業者に縫製していただきたい。
Q. デニムコトン簡易ベットやフロアマットの配置場所は。

A. 指定緊急避難所または防災倉庫に備蓄する。

〈議案第52号 令和7年度井原市病院事業会

計補正予算(第1号)〉

〈議案第53号 令和7年度井原市下水道事業

会計補正予算(第1号)〉

原案可決

原案可決

原案可決



一般質問

13名の議員が質問



6月定例会では、6月18日から20日の3日間にわたり、13名の議員が質問に立ちました。その一部をご紹介します。

※掲載している一般質問は、紙面の都合により発言を要約し、質問した議員本人の原稿に基づいて掲載しています。

※井原市議会では、一般質問の模様をYouTubeで配信しており、各議員のページの二次元コード（QR）から動画を視聴できます。

【質問者】

- ◆松本周平…… 7 P
- ◆山田幾久枝…… 7 P
- ◆佐藤豊…… 8 P
- ◆上野安是…… 8 P
- ◆柳本益裕…… 8 P
- ◆多賀紀代子…… 9 P
- ◆木尾容子…… 9 P
- ◆坊野公治…… 9 P
- ◆西村慎次郎…… 10 P
- ◆宮地俊則…… 10 P
- ◆沖久教人…… 10 P
- ◆多賀信祥…… 11 P
- ◆妹尾文彦…… 11 P



英検の検定料補助対象者の拡大について 他3件

無所属 松本 周平



補助対象の拡大と受験

環境の整備を目指して

英検の検定料補助対

象者の拡大について、

どこまで検討が進んで

いるか

答 令和6年度から同一

年度に上位の級を受

験する場合、最大2回

まで補助拡大している。

今年度からは手続の簡

素化を図り、電子申請

システムで申請可能と

なった。小学生の英検

補助の要望は現状市に

届いていない。

効率的な情報発信を目

指して

問 広報いばらの充実に

ついて

答 どの発信方法が効果

的であるかを見極め、

今後とも研究を進める。

問 SNSの費用対効果

について

て

答 3年間でSNS委託

費として197万円を投じ

た。井原市PRやふる

さと納税情報発信など

を行っている。納税額

4億円の目標を822万円

上回り、同年度のフォ

ロワー目標4千800人に

対し6千654人、SNS

動画18万再生目標に対

し50万超と目標達成。

A-先進自治体を目指

して

問 AIを取り入れた業

務改善について

答 井原市生成AI活用

ガイドラインを作成。

業務で活用できるよう、

チャットGPT無料版

を利用可能とし職員の

業務時間の削減につな

げている。

問 SNSの活用につい

て



放課後児童健全育成事業の運営体制の整備について 他1件

無所属 山田 幾久枝



問 放課後児童クラブの

定員や設置場所に関す

る課題について伺う。

答 国が定める基準を参

考に定員を決めている

が、利用者の増加に伴

い定員を超えているク

ラブもあり、支援員の

負担増加や待機児童の

リスク等に課題がある。

設置場所の老朽化や小

学校から遠い等の課題

もあるが、小学校の余

裕教室の利用が最も安

全性が高いことを念頭

に適切な場所への移転

等を検討する。

問 子育て支援として、

長期休業中に学校給食

センターの活用や弁当

事業者との連携等の方

法で放課後児童クラブ

に昼食を提供すること

について伺う。

答 市としての支援の在

り方を今後も研究する。

問 井原市民病院の短期

入院レスパイト事業

（重症心身障害のある

方を在宅で介護してい

る家族の負担軽減が目

的の事業）の現状や課

題について伺う。

答 直近3年間の利用者

は全て18歳以上であり、

医療的ケア児の受け入

れ実績はない。小児科

の常勤医が1名のため

急変時の対応など安全

性の観点から医療的ケ

A児の受け入れには慎

重にならざるを得ない

が、重要性やニーズが

あったため実現可能な

取組を今後も検討する。





小中学校における薬物乱用
防止教育について 他1件

公明党 佐藤 さとう

豊 ゆたか



問 小中学校における薬物乱用防止教育について伺う。

答 井原市内の小中学校では、それぞれの学習指導要領にのっとり適切に指導を行っているところであり、小

学校では体育科の保健分野で、中学校では保健体育科の保健分野で学習しています。また、

井原警察署の生活安全課や倉敷少年サポートセンター、学校薬剤師を招いて薬物乱用防止教室を毎年度実施しております。内容はDVDの視聴やスライドを活用した講話を通じて薬物依存の怖さや薬物が体に与える影響、さらに薬の乱用やオーバードーズなど児童・生徒の発達段階に応じ

て、自分事として捉える工夫をしながら、今後も関係機関と連携し、実態に即した効果的な薬物乱用防止教育を推進してまいります。

問 用水路や側溝への安全対策について伺う。

答 令和7年3月末時点における安全対策が必要な箇所は17カ所把握をしており、現在、安全対策にむけた事業を進めているところであります。そうした中、令和4年度から6年度の3年間にわたる安全対策の状況は、危険箇所として把握した22カ所のうち13カ所の安全対策を実施しており、今後引き続き、安全対策の実施による危険箇所の解消に取り組んでまいります。

て、自分事として捉える工夫をしながら、今後も関係機関と連携し、実態に即した効果的な薬物乱用防止教育を推進してまいります。



井原市「道の駅」構想について 他1件

無所属

上野 うえの

安是 やすゆき



「道の駅」構想について



問 「道の駅」が実現した場合の効果について伺う。

答 ①地域課題の解決につながる。
②安全で快適な交通道路環境が提供できる。
③井原市のPRや認知度が高まる。

問 財政負担について

答 ①整備資金は行政が負担。

②施設の設計・建設、維持管理・運営は民間事業者が負担。



予約型乗合タクシー「あいあいカー」の役割について

無所属

柳本 やなぎもと

益裕 ますひろ



問 予約型乗合タクシー「あいあいカー」についてどのような役割として捉えているか。

答 「あいあいカー」は決まったダイヤや行き先に基づき、乗り合いを前提として運行するもので自宅と区域や市内の中心部の乗降場所、ドア・ツー・ドアで移動でき1日最大9便を運行している。今は自家用車を利用されている方でも、運転免許証を返納するなど、生活環境の変化によって、公共交通が身近なものとなり、利用回数が増えることも想定される。

「あいあいカー」は芳井・美星地域の生活交通の確保という重要な役割を担っているため、高齢者や移動手段を持たない方にとって買物や通院などの日常生活を支える移動手段であり、本市の重要な公共交通の一つと位置づけている。

問 「あいあいカー」の利用状況として、運行回数、利用人数、乗合率の状況はどうか。

答 令和6年の運行回数はトータル3千916回、利用者は5千194人で前年度対比1.4倍の伸び率となっている。

問 予約方法の説明会などの利用促進の取組状況はどうか。

答 芳井・美星地区の自治公民館やコミュニティハウスでの説明会や公共交通のかわら版の発行等効果的なPRを今後も取組んで行く。



井原高校南校地跡地活用について

問 跡地の更地化を前提として利活用を検討し、譲渡を受けるか否かの判断をすべきではないか

答 検討会議の提案内容により、譲渡の判断も含め方針を決めていきたい。

たない方にとって買物や通院などの日常生活を支える移動手段であり、本市の重要な公共交通の一つと位置づけている。



井原リフレッシュ公園（静のゾーン）の施設整備について

無所属 多賀紀代子



問 井原リフレッシュ公園（静のゾーン）は、開園から今年で20年。公園の現状と開園20年の節目を迎え、利用促進、施設整備計画など次の20年を見据えた公園の在り方について本市の考えを伺う

答 井原リフレッシュ公園（静のゾーン）の施設整備は、平成16年度末に整備を完了し、翌年度から供用開始した。現在もレクリエーションなどが楽しめ、健康づくりと交流を図れる自然豊かな総合公園として休日に限らず、また年齢を問わず、市内外の多くの方に利用いただいている。公園施設の老朽化が見られる箇所があることは把握しており、管理委託業

者からの連絡、職員の巡回によりその状況を確認、危険な場合は修繕を行い、利用される方の安全の確保や公園施設の長寿命化に取り組んでいる。利用促進、施設整備計画など次の20年を見据えた公園の在り方については、ホームページやSNS等で情報発信を行い、公園の点検管理を徹底し、安心して利用出来る環境を提供していくことが継続的な利用者の確保、新規利用者の増加に繋がると考えている。時代に即した居心地がよく、誰もが快適に過ごせる公園となるよう努めたい。



給食費の無償化について 他2件

日本共産党 木尾容子



問 本市の給食費が値上げされたとの報道があるが、具体的な値上げの金額や現在の運営状況、今後の計画について

答 急速な物価高騰により食料が高騰し、これまでの給食費では給食の質を維持することが困難な状況となったため、近隣自治体の状況も踏まえ、令和7年4月より値上げを行った。具体的には保護者負担が小学校が300円から340円。中学校が340円から390円。幼稚園が52円から65円への値上げ。今後の計画については、国の交付金を活用して今年度一年間の給食費値上げ相当額を学校給食費会計支援金として交付し、値上げ前と同

額にすることで子育て世帯の経済的負担の軽減を図りたい。

問 令和6年1月から3月の間は市内の幼稚園、小学校、中学校で給食費の無償化が行われたが、保護者の感想について

答 国の交付金を活用した給食費の無償化を行った。直接保護者からの感想は聞いていないが、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることに繋がったものと考えている。

問 県内の各自治体でも無償化が進んでいるが、本市でも無償化してはどうか

答 引き続き国の動向を注視していくとともに、早期実現に向けた要望を行ってまいりたい。



市内高等学校に対する考え方について 他2件

無所属 坊野公治



問 170年の伝統を持つ興譲館高等学校が、現在市内から通学する生徒も少なく、県外からの募集に頼っても定員の半数に満たない生徒数とお聞きする。市内の教育機関の一つである興譲館高等学校を市としてはどう考えているのか伺う。

答 学校法人の運営に関しては独自の教育理念と教育内容の多様性の確保を機会と考え、教育やスポーツ振興を目的とした支援を行ってきた。市内には3校の高等学校があり、それぞれ特性を生かした学校運営が行われている。その中であって、興譲館高等学校は教育機関であると同時に、本市の歴史を語るうえで欠



かせない特色ある文化施設の一つであると認識している。

飼い主のいない猫の不妊去勢手術について

問 今年度から矢掛町で飼い主のいない猫への不妊去勢手術費助成が予算付けされている。本市でも取り組まれてはどうか伺う。

答 現在、猫に対する主な相談は、放し飼い猫への餌やり、糞尿被害である。不妊去勢手術費の助成については引き続き保護猫活動の実態の把握をし、県内他市の状況も踏まえて研究していきたい。

人口減少対策について

無所屬

西村慎次郎



問 世代ごとのこれまでの人口減少対策の取組について

答 子育て世代に対し、

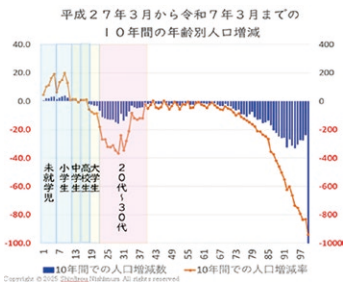
保育料や医療費、給食費、給食副食費の無償化などに取り組んできており、子ども達を対象に、人づくり事業、ふるさと井原魅力発信事業などに取り組んできた。さらに、20代・30代の就職のタイミン

して本市が魅力的な選択肢となり、そして就職してから将来にわたる定着につなげるための施策を展開してきた。

問 今後の人口減少対策の考え方について

答 引き続き、現在取り組んでいる施策を粘り強く進めていくとと

テージにも着目した施策を検討していきたい。今年度専門機関のノウハウを活用し、少子化人口減少実態調査分析業務を実施することとしている。この調査結果を踏まえ、人口減少対策に係る事業を検証し、見直すとともに導き出されたデータに基づく施策の立案につなげていきたい。



本市の教育行政について

無所屬

宮地俊則 (みやじ としのり)



問 教育行政全般について新教育長の所信を伺う。

教育活動は子どもたち

の人格形成を目指して行われるものであり、常に子どもを中心に位置づけた教育、子どもが主語の教育の推進を大切にしたい。

学力向上のためのシステムを構築したい。

生成AIの教育現場での活用について積極的に取り組んでいきたい。

子どもたちの科学への興味を高めていきたい。

小学校の規模の適正化・適正配置について

感じているか伺う。

問 複式学級の解消について考えている。

答 市内13小学校を将来的に維持することは難しく、再編統合は必要と考えている。

問 複式学級の解消について考えている。

答 複式学級はメリットデメリットがあるが、小学校の在り方を検討していく上で、複式学級の解消は重要な視点の一つであると考えている。

いて速やかに実行する
考えはないか伺う。

答 真摯に受け止めてお
りスピード感を持って
内部協議を確実、着実
に進めているところで
ある。



道祖溪の保全と活用に関する
今後の方針について 他1件

無所屬

沖久 教人



問 現在の立入制限の理由とその解除の見通しについて

答 令和4年から県が実

施工している砂防堰の
 工事が始まったことよ
 り、現在も立入りを制
 限している。県の工事
 については、堰堤本体
 工事及び附帯工事につ
 いて令和8年度中の完
 了を目指している。こ
 の工事期間中において
 は、道祖溪全体の安全
 性の確認は困難である
 ため、工事完了後、速
 やかに県や各種専門家

う必要があると考える



道祖溪

問 観光資源としての整備・活用について

答 県が指定した名勝で

あり、観光資源として

の整備や活用方針を検討していきたい。

問 教育の場としての活用について

答 西江原小学校でのふるさと学習の場として活用していた。

教育長が考える道徳教育について

問 学校、家庭、地域が一体となった道徳教育の充実について

答 道徳科の授業の公開

置づけ、保護者だけでなく地域の方々にも呼びかけ、多くの参観を得られるような工夫をしている。



道祖踊り



道祖溪



道祖踊り



放課後児童健全育成事業の運営
委員会以外への委託に向けた取組
について
他1件

無所属 多賀 信祥



**保護者運営の負担軽減
に向けて**

問 どの程度の運営委員会が移行すると考えるか

答 現在18クラブ設置しており、各運営委員会へ運営における負担感についてのアンケート調査を行ったところ、約半数の運営委員会から負担を感じているとの回答があり、これらの中に直接委託を希望される運営委員会があると考えている。

問 実施に向けた具体的なスケジュールについて

答 今年度は運営の支援等に係る制度設計や具体的な選定方法を検討し、令和8年度に委託事業者の選定、令和9年度から直接委託方式



を取り入れての運営としたい。

問 今年度委託料の調査も行うのか

答 放課後児童健全育成事業の委託料は、国が基準額を示しているが、民間事業者がその金額で委託が可能かどうかの調査をする必要がある。



本市における地域医療の
現状と課題について

無所属 妹尾 文彦



問 医師確保に向けた取組について①本市の医師の現状と課題について②岡山大学との寄附講座の成果について。

答 本市の医師数は全国平均の半分以上。医師の高齢化や当番医体制の維持が課題。寄附講座では産婦人科・救急医療を実施。妊婦健診の利用者からは利便性が評価。

問 医師確保のため、井原市内で医師を育てる仕組みをつくってはどうか。

答 医師に限定した支援や奨学金制度の導入は、公教育の立場や財政的公平性から困難。

問 医師に限らず、様々な分野で人材を育てる「人材育成型のまちづくり」を市全体の方針

として進めてはどうか。

答 「ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業」も進めながら人材育成のまちづくりに努める。

問 市民病院の経営状況と黒字化に向けた今後の取組について①市民病院の経営状況について②令和9年度黒字化の見通しについて。

答 令和6年度は約1億2千900万円の赤字見込み。令和9年度の黒字化は厳しいが、病床削減と機能強化で経営効率の向上を図る。

問 リクライニング椅子を導入してはどうか。

答 スペースや衛生面の課題から見送り。発熱等の症状の方には処置室のベッドで対応。

**行政視察の
受け入れ**

次の2市の議会議員の皆さんが視察に訪れ、当市の取組について研修されました。

「兵庫朝来市議会（令和7年2月14日）」

「井原鉄道について」

「広島広報委員会の活動について」



「沖縄県石垣市議会（令和7年7月1日）」

お詫びと訂正

令和7年5月号9ページの「一般質問」において、佐藤議員の質問内容が前号と同じものを掲載していました。

お詫びして訂正いたします。なお、市議会ホームページには訂正したものを掲載しています。

9月定例会の仮日程

9月 8日 (月)	開	会
	(市長の提案説明)	
9月10日 (水)	一 般 質 問	
9月11日 (木)	一 般 質 問	
9月12日 (金)	一 般 質 問	
9月16日 (火)	議 案 審 議	
9月17日 (水)	決 算 審 議	
9月18日 (木)	(厚生文教委員会)	
9月19日 (金)	(総務産業委員会)	
9月22日 (月)	(予算決算委員会)	
9月24日 (水)	(予算決算委員会)	
9月26日 (金)	議 案 審 議 ・ 閉 会	

日程については、9月の議会運営委員会で協議した後、ホームページ等でお知らせします。

市議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議及び委員会は一般に公開していますのでお気軽にお越しください。会議当日の8時30分から市役所5階の議会事務局で受付いたします。どなたでも傍聴できますので、希望される方は議会事務局で傍聴券の交付を受け（先着順）、入場してください。

傍聴者の定員

本会議場	38名
委員会室	10名
全員協議会室	5名
	(うち8席は報道用)

新しい広聴広報委員会



委 員 長	佐 藤 豊
副 委 員 長	沖 久 教 人
委 員	大 滝 文 則
	上 野 安 是
	荒 木 謙 二
	妹 尾 文 彦
	柳 本 益 裕
	多 賀 紀 代 子
	松 本 周 平



～ 会議録の検索 ～



井原市議会
ホームページ



井原市議会のホームページでは、平成24年2月定例会分から常任委員会の会議録（要点筆記）を公開しています。また、平成9年3月定例会以降の本会議の会議録を検索することができます。

市のホームページから市議会ホームページへアクセスし、「会議録」をクリックしてください。

(井原市ホームページアドレス：

<https://www.city.ibara.okayama.jp>)

なお、この会議録につきましては、正式な会議録とは若干異なります。

編集後記

新しいメンバーで広聴広報委員会がスタートしました。

委員会では年4回の「いばら市議会だより」を発行しています。広報誌の役割は市議会の活動を市民の皆様によく知っていただくことです。

読みやすい・親しみやすい・わかりやすい議会だよりをお届けできるよう委員一丸となって頑張ります。
(佐藤 豊)